

## 第3回 宇都宮市緑の基本計画策定懇談会 会議録

■日時 令和4年11月11日（金）10時00分～12時00分

■場所 市役所14階 14D会議室（オンライン併用）

### ■出席者（委員名簿順、敬称略）

【委員】 大森宣暁，林光武，相澤美知子，岡地和男，駒場久，齋藤健壽，野口進，富健治  
＜オンライン参加＞五艘みどり

※桂木奈巳委員，山根健治委員，小池恵一郎委員，齋藤美和子委員，福田嘉男委員，  
富久田三千代委員は所用により欠席

【事務局】 都市整備部次長，景観みどり課長，景観みどり課職員5名  
（株）プレック研究所2名，

■傍聴者 1名（報道機関2名）

### ■配付資料

次第

資料1 懇談会スケジュール（予定）

資料2 （仮称）第3次宇都宮市緑の基本計画素案 概要版

資料3 （仮称）第3次宇都宮市緑の基本計画素案

資料4 前回懇談会の主な委員意見と対応

参考資料 計画の評価指標の設定について

### ■ 次第

1 開会

2 協議事項

（1）（仮称）第3次宇都宮市緑の基本計画素案について

- ・ 今後のスケジュールについて

事務局より，資料1に基づき，説明を行った

- ・（仮称）第3次宇都宮市緑の基本計画素案について

事務局より，資料2，資料3，資料4，参考資料に基づき，説明を行った

3 その他

4 閉会

## ■発言要旨

<b>2 協議事項</b> (1) (仮称) 第3次宇都宮市緑の基本計画素案について ・今後のスケジュールについて	
相澤委員	市政ニュースなどに宇都宮の見どころなどをより強調して載せた方がよい。例えば、月ごとに、おすすめの散歩コースや見どころをアピールして、市民に分かりやすく伝えられると良い。市民が良いまちだと思えるようにすることが重要である。
大森会長	次の議事の話題に関わるため、また後ほど伺いたい。
<b>2 協議事項</b> (1) (仮称) 第3次宇都宮市緑の基本計画素案について ・(仮称) 第3次宇都宮市緑の基本計画素案について	
富委員	資料2の基本方針ごとに設定されている目標について、基本方針②と③の目標数値に対する根拠を教えてください。
事務局	目標の考え方については、資料3の51ページに詳しく記載している。 基本方針②の目標については、市民アンケートの結果をもとに、都市部の緑の量に対して「多い」または「ちょうどよい」と回答した人の割合から設定している。10年前のアンケート結果と増加した割合をもとに算出した。 基本方針③の目標については、コロナ禍以前の2018年4,301人まで、ボランティア活動者数を戻すことを目指し設定した。
大森会長	基本方針②の目標値について、平成21年度から令和3年度で約13%増加しているため、10年後の目標値として現在値から約13%の増加を目標として設定したということである。
五艘委員	緑の将来像は、宇都宮市全体の将来像というより、宇都宮市の緑に関する将来像であるため、例えば「暮らしやすさと訪れる心地良さを演出する豊かなみどり」など、「みどり」で終わらないと、みどりによって何を目指しているのかが曖昧になってしまう。
岡地委員	将来像は、緑によってどういうまちにしたいかを表現できればよいと思う。「住めば愉快だうつのみや」が浸透しているので、宇都宮で終わっていても違和感はない。
五艘委員	総合計画等の宇都宮市全体について言及する計画との差別化を図るためにも、緑の計画では「みどり」に焦点を当てられれば良いと思った。ただし、あくまで一意見で、必ず「みどり」で終わらないといけないということではない。
事務局	今回の計画のポイントとして、スーパースマートシティの実現に緑がどのように

	貢献していくかという視点があり、その想いとして「みどりのまち 宇都宮」としている経緯がある。
大森会長	今議論となった将来像も含めて、パブリックコメントによる市民からのご意見を踏まえてということではいかがか。
岡地委員	素案のはじめに、緑の役割が追加されたことで、人にとって緑が必要不可欠であると示すことができていると思う。 せっかく入れていただいたので、「序章 はじめに」の部分で、緑の役割を説明して、計画の策定や背景などを第1章にするのはどうか。
林委員	冒頭に大きな写真が何ページにも及んで使われていることで、市民に緑の役割や作っていきたいまちのイメージを伝えられるため、いかに市民に訴えていくかという視点ではとても良い。緑の役割の説明文章はもう少し詳しく書かれていても良いと思う。
野口委員	緑の役割の最初のページに総論的な緑の効果を記載して、その後から写真付きのページがある方が見やすいように感じる。
大森会長	以上の3名の意見については事務局で検討いただければと思う。
事務局	承知した。
富委員	緑の面積はある程度確保できているため、これからは緑の質が求められる。質の高い緑とは何かを具体的に記載できると良いと思う。「今までの緑」と「質の高い緑」の違いを具体的に記載し、それを目指して施策を展開できると良い。抽象論だと伝わらないため、目標を具体的に記述すべきである。
大森会長	現時点では資料3の45ページにイメージスケッチが入る予定であるが、ここに質の高い緑のイメージを入れる予定か。
事務局	イメージスケッチとともに、文章としても記述できないか検討したい。
岡地委員	質の高い緑については、人によって解釈が異なると思う。具体的にイメージを持ってもらうためには、説明を増やした方がいい。
相澤委員	質の高い緑とは、管理が簡単なのか、長持ちすればよいのか等、判断基準が異なるため、文字を入れて説明することでより分かりやすくなると思う。
富委員	中心市街地には、開設から30年以上経っている公園もあり、園内の樹木が大木化、老木化してしまっており、全体的に荒れている。駅東公園等、区画整理によ

	<p>って広い公園が整備されているが、これからは質を上げていかないと、LRT が通り人がまちに訪れるようになって、歩いて行ける身近な公園、子どもが遊ぶ公園としては十分ではない。今後 10 年間の計画期間の中で、市民・企業・行政等で役割を決めて、管理をしないことには質を上げられない。</p>
岡地委員	<p>質の高さは、緑の種類や地域によって捉え方が異なる。中心市街地については市民にとって身近な場所なので、質の高さが何か分かりやすい方が良い。</p>
富委員	<p>マンション開発が進み、首都圏から人が流入してくる可能性があるが、マンションの周辺に歩きたいと思える緑が少ない。まちのレベルを上げるのに緑の質を上げることは必要不可欠だと思う。</p>
大森会長	<p>緑の質に関して、イメージがわかる写真などがあると良い。また、地域別方針の中でも質について言及し、その中で「管理が求められている」等の文言があると良いかもしれない。</p>
五艘委員	<p>目標指標について、前計画の 5 つの指標から、今回は 3 つとなっている。今回、緑視率と緑被率は、測定の難しさから、基本方針に基づく目標としては外されたのかもしれないが、この 2 つが目標ではなくなった理由について伺いたい。特に市街地の緑被率は重要だと思う。赤線で囲まれた市街地だけでも緑被率を目標として設定できなかったのかについて伺いたい。</p>
事務局	<p>緑被率、緑視率は、目標指標には設定していないが、モニタリング指標と重点プロジェクトの指標として扱うこととしている。前は緑の量を測るものとして目標水準に設定していたが、今回は基本方針ごとに目標を設定しているため、このような形となった。緑被率も緑視率も、今後も確認していく指標である。</p>
五艘委員	<p>緑視率や緑被率をモニタリング指標とすることで、きちんと評価されなくなってしまわないかと心配である。きちんと評価できるのであれば取扱いについて問題ないと思う。</p>
事務局	<p>先ほど今後のスケジュール説明の際、いただいた相澤委員からのご意見について回答する。今回定める施策のうち、「多様なメディアを活用したみどりに関する情報発信」という施策があり、この施策の中で対応していければと考えている。</p>
相澤委員	<p>具体的なアイデアとして、月ごとに、おすすめスポットのようなものを市民に認識してもらうために、市政ニュースなどで大きく扱い、強調できたら良いと思う。</p>
岡地委員	<p>空き家問題について緑の基本計画ではどう取り扱うのか。緑の質に関連する問題であると思う。空き家とともに放置された緑の管理は、市がどこまで行うのか。空き地や空き家の道路上に出ている緑の管理は交通にも影響を与えるため、市が</p>

介入する必要があるのではないか。市民では地主の連絡先がわからず、対処ができない。空き家対策をまちの緑として捉えて、何らかの形で緑の基本計画に組み込むことはできないか。

事務局

現状としては、緊急性を要する道路上の緑の管理は道路管理者が行い、電線に引っかけ場所は電力会社が行っている。緑の基本計画での取扱いについては事務局で検討する。

岡地委員

緊急性があるものだけでなく、通りの景観など緑の質を維持する上でどう管理していくのか。繁茂し過ぎて暗くなるのも防犯上よくない。計画に位置付けることから始めなければならない。近隣住民は空き家の持ち主の連絡先がわからず困っている場合が多い。今後の検討課題として事務局で検討していただきたい。

五艘委員

進行管理について、いつごろ何をするのかを書いた方が良い。素案にも重点プロジェクトについてはスケジュールが書かれているが、ざっくりしていることに加え、どの項目がどの事業に対応しているのかがわからない。計画の実行性を高めるためにも、もう少し詳しくスケジュールを示すと良い。最初の段階で立てたものを全て実行しなければならないというわけではなく、そのときの状況に合わせて見直しを重ねていければ良い。現時点で立てられる見通しを示した上で、10年後どのような姿になるのか示すことができると市民の方に納得していただけると思う。

事務局

重点プロジェクトについては、取組目標を設定しているため、その都度状況に合わせてスケジュールの更新を行っていく予定である。

富委員

計画の進行管理として、市の意気込みを示すべきだと思う。施策全体の具体的なロードマップをA3一枚程度でまとめられるといい。実行できるかどうかではなく、10年で行う予定の施策をまとめることで、民間の協力を得られるもの、ボランティアの協力を得られるものが分かりやすくなるのではないかと。

林委員

資料3の74ページに「⑦生きものとその生息・生育環境の保全」とあるが、生物多様性保全の観点はここだけである。内容も「うつのみや生き物つながりプランに基づいて会議を行う、監視活動をする、外来種対策をする。」ということしか書いていないため、希少種や宇都宮を特徴づける環境の保全等、緑として何をしていくのかをもう少し追記した方が良いと思う。

また、「多様な主体」という表現が素案の中で使われているが、市民によっては他人事と感じてしまうかもしれない。「様々な人や団体」など、代替案を検討いただきたい。

地域別方針については、文章から読み始めるとどの地域が話題になっているのかが分かりにくいいため、緑の状況の図を最初に示してはどうか。内容に関しては、生物多様性の観点からの記載が弱い部分も見られるため、見直していただけると

<p>事務局</p> <p>大森会長</p> <p>事務局</p> <p>齋藤委員</p> <p>大森会長</p>	<p>良い。</p> <p>本日欠席の委員からの意見についても、主な意見を抜粋して紹介する。 資料3の33ページの「同じ方向を向いて」は表現として重いので、「協働して」くらいにしてはどうか。</p> <p>基本方針③の目標指標と重点プロジェクトⅢの取組目標については、市が管理している、もしくは条例で市が管理できる緑地のみを含めるとしているが、個人や法人が管理している緑地も含めた方がよいのではないかと。</p> <p>資料3の第3章や第4章で、緑の質について公園と緑化の関係が取り上げられているが、生活感や地元根付いた小さな公園に対するイメージが希薄であると感じた。</p> <p>宇都宮市の緑の状況は同規模の都市と比べてどうか。</p> <p>緑視率や緑被率は多くの都市で扱われているが、同じ条件で算出しているとは限らないため、比較が困難であるのが現状である。良い比較方法がないか検討する。</p> <p>緑の質を保つには費用がかかる。宇都宮駅東側では区画整理が完了しており、区画整理がされた場所は道路の幅が広くなり、公園ができたことで、緑が見える部分が大きくなり、緑の質も良くなったように感じる。まちづくりとセットで緑地の整備を進めていくことも重要である。</p> <p>本日議論した素案は、宇都宮市全体が目指す「スーパースマートシティ」、「立地適正化計画」との連携を意識したものになっている。いただいた意見のとおり、緑の役割の写真を冒頭に入れたのは良いが、市民に緑の役割がより伝わるように説明する必要があること、緑の質の向上に向けて市民一人一人が主体となる必要があることが伝わるようにブラッシュアップしていただき、パブリックコメントにかけていただきたい。</p>
<p>3 その他</p>	
<p>事務局</p>	<p>本日いただいた意見を踏まえて事務局で修正を行い、パブリックコメントの資料としての確認は大森会長に一任してもよろしいでしょうか。</p> <p>(委員 異議なし)</p> <p>今後の予定について、追加の意見がある場合 11/22 までに事務局にメールしていただき、12月下旬から1月中旬までパブリックコメントを行う。</p> <p>次回の懇談会ではパブリックコメントでいただいた意見を踏まえて、市の対応方針を固めたのち、方針をもとに素案を修正したものの最終確認を行っていただく予定である。開催は2月下旬を予定している。詳細は改めて連絡する。</p>

